

令和元年7月報【令和元年7月1日(月)～7月31日(水)】

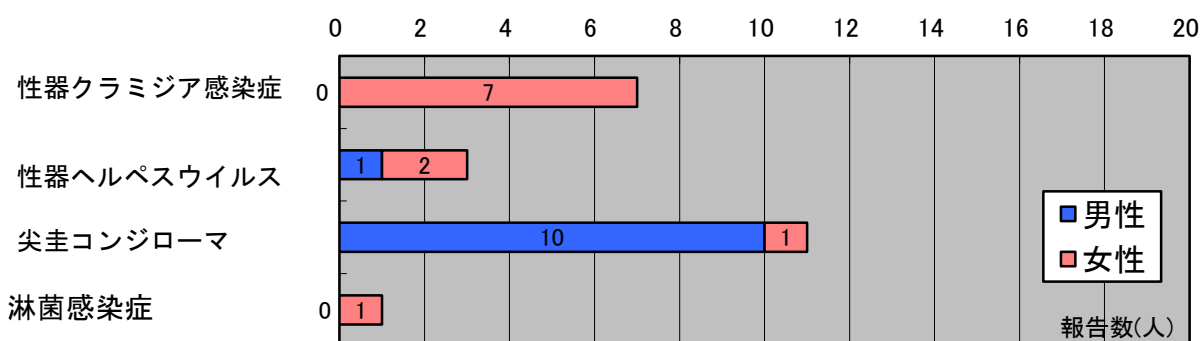
鹿児島市感染症情報

発行元：鹿児島市保健所

ホームページ <http://www.city.kagoshima.lg.jp> >健康・福祉>健康・医療>流行疾患、感染症>感染症の発生状況

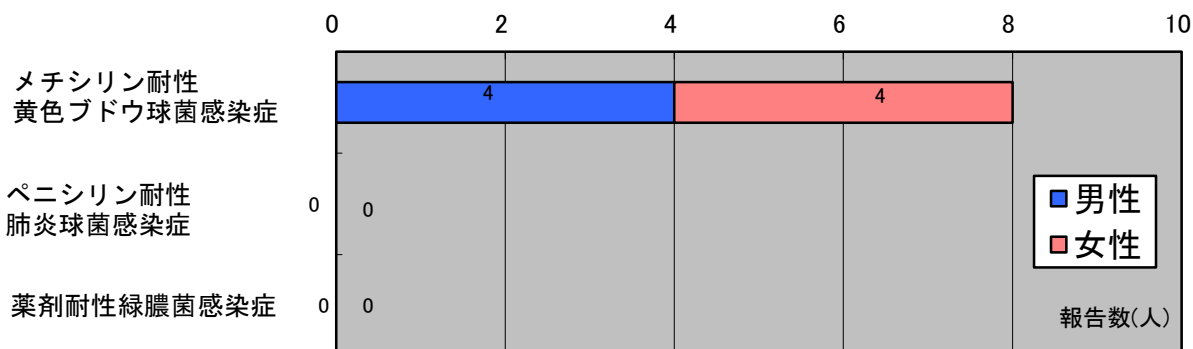
● 定点医療機関における性感染症の報告状況

期間中の患者報告総数は、前月より2人少ない22人(男性11人・女性11人)でした。
報告数が最も多かったのは、尖圭コンジローマ(男性10人・女性1人)でした。



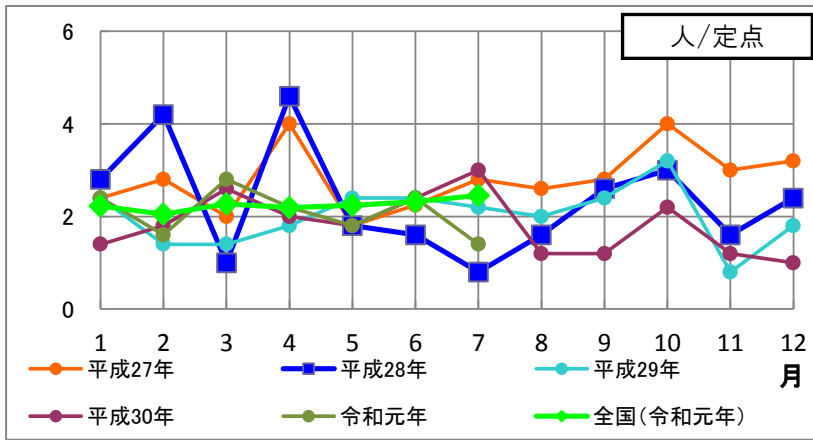
● 定点医療機関における薬剤耐性菌感染症の報告状況

期間中の患者報告総数は、前月と同じ8人(男性4人、女性4人)でした。
報告数はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症のみ(男性4人、女性4人)でした。
年齢別の内訳は、5ページを参照してください。

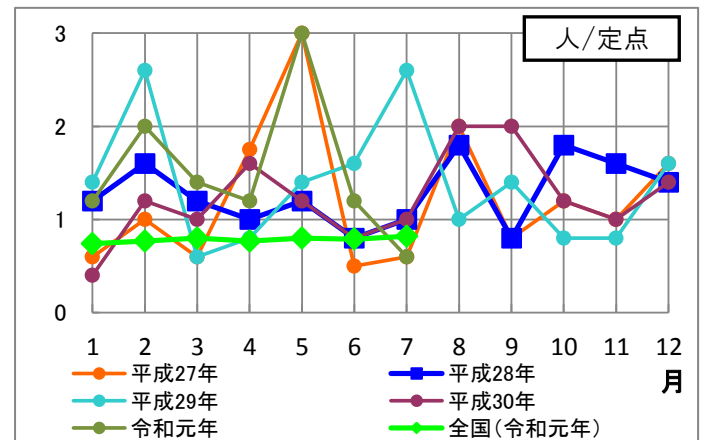


●性感染症の報告状況の推移（比較）

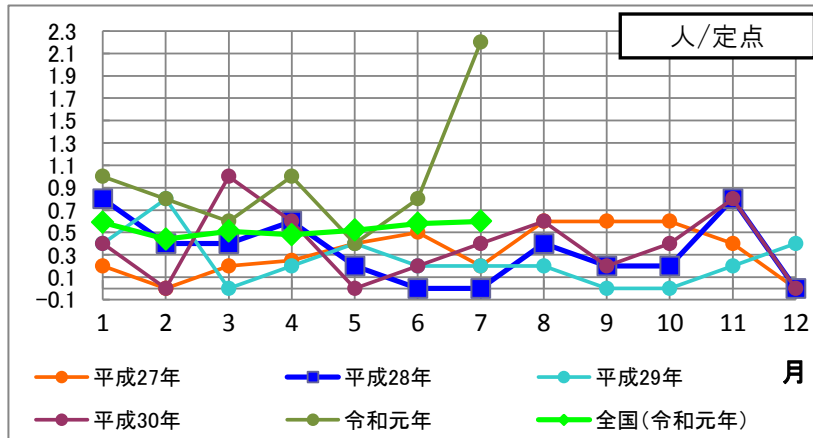
【性器クラミジア感染症】



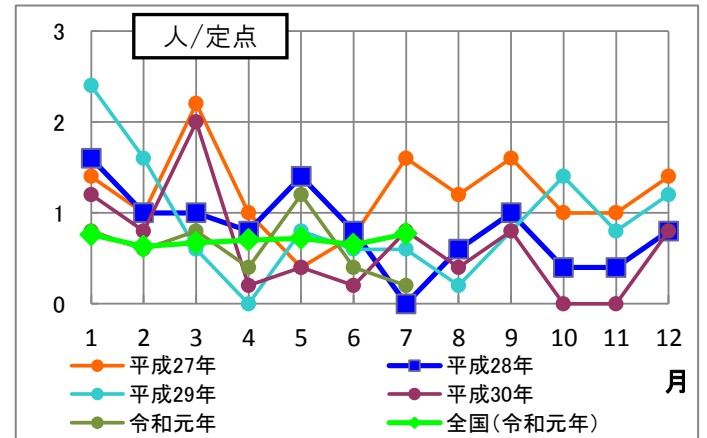
【性器ヘルペスウイルス感染症】



【尖圭コンジローマ】

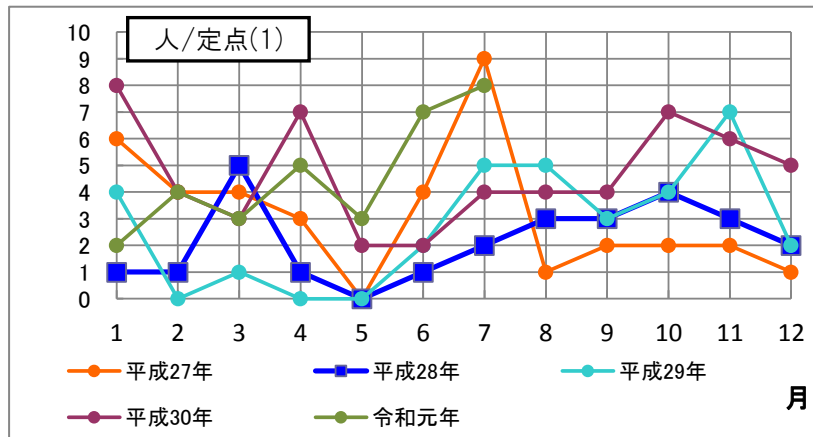


【淋菌感染症】

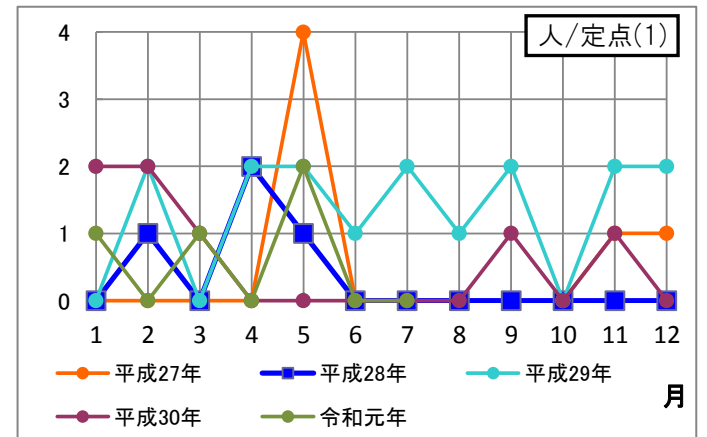


●薬剤耐性菌感染症の報告状況の推移（比較）

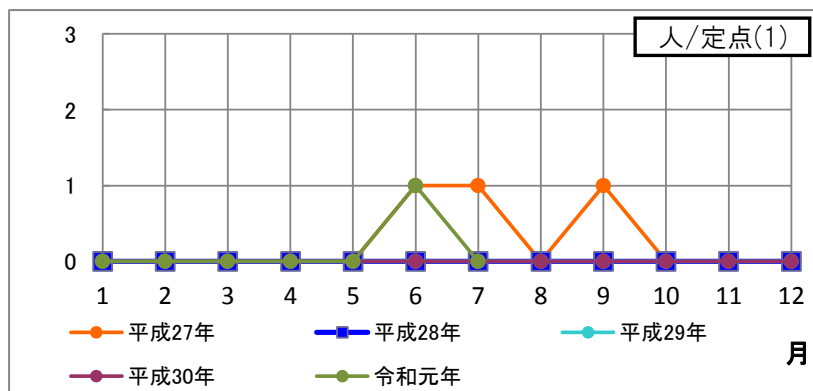
【メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症】



【ペニシリン耐性肺炎球菌感染症】



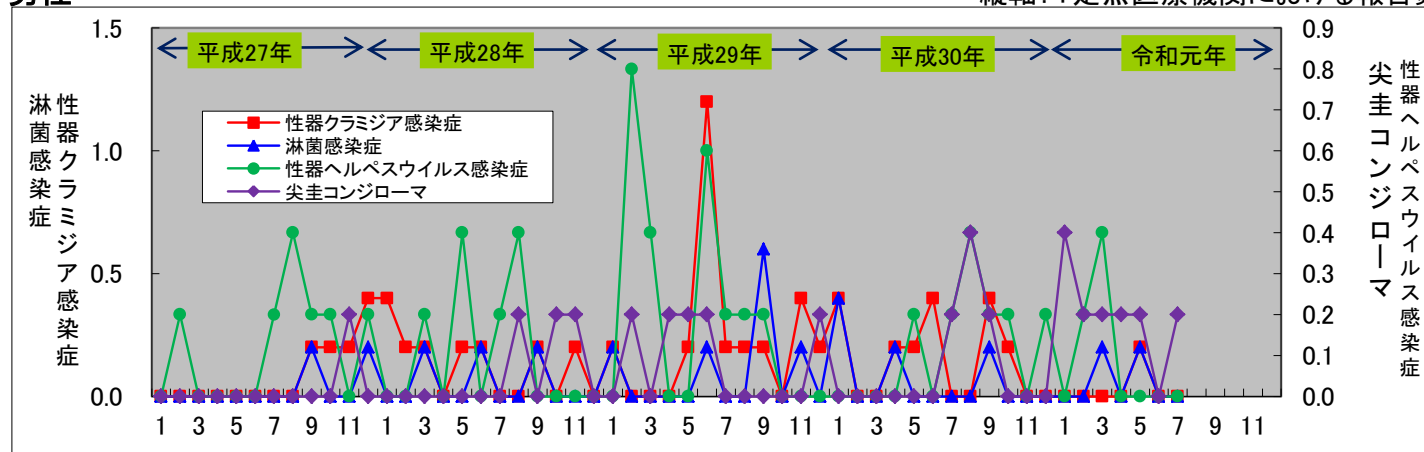
【薬剤耐性緑膿菌感染症】



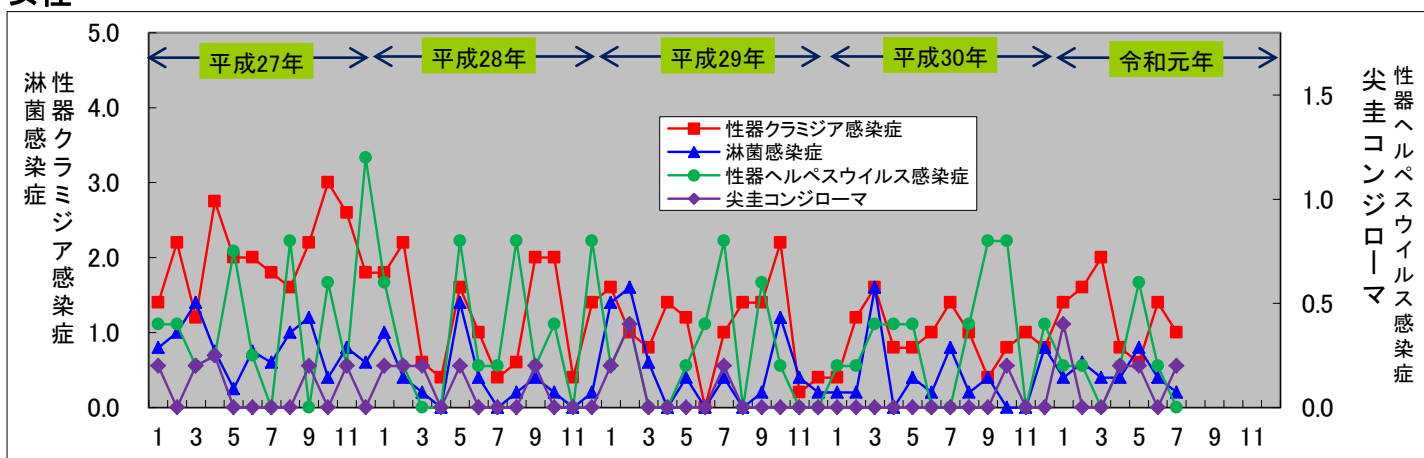
●若年層（15歳～29歳）における性感染症の年別・月別の推移

男性

縦軸：1定点医療機関における報告数

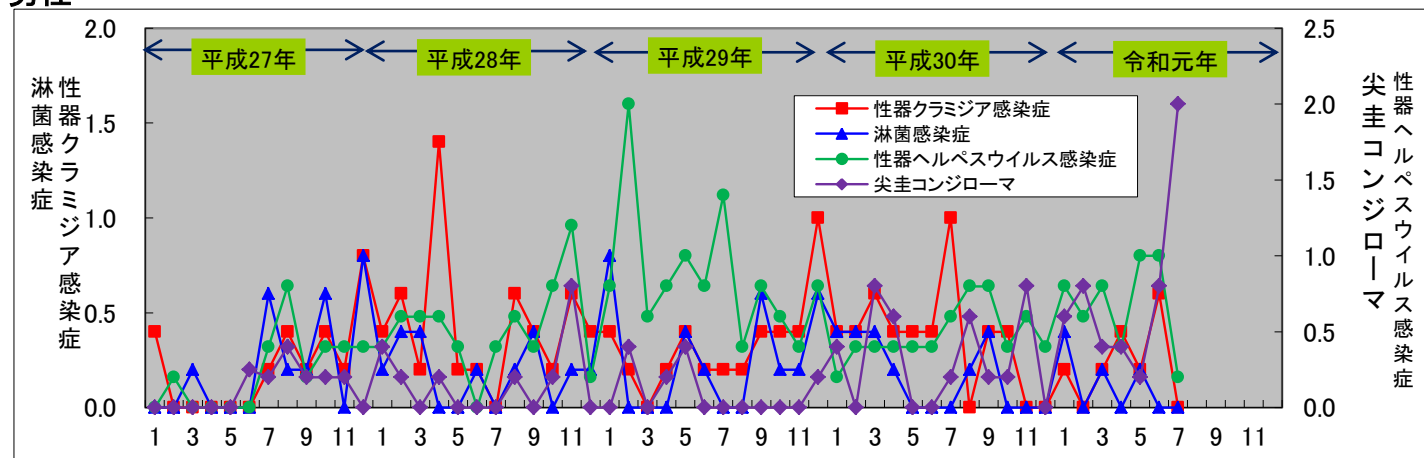


女性

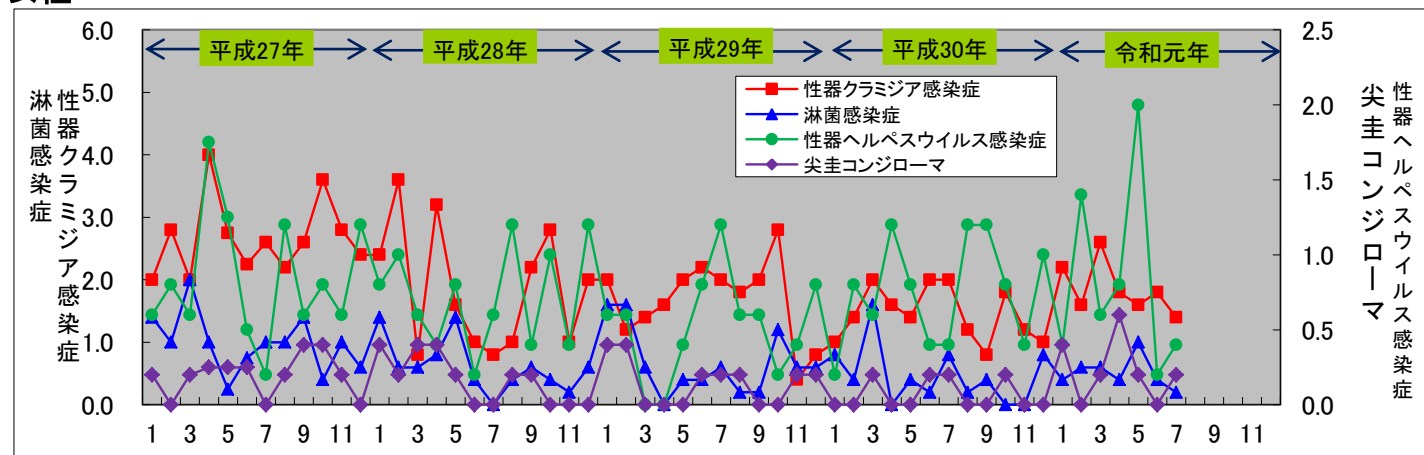


●全年齢層における性感染症の年別・月別の推移

男性



女性

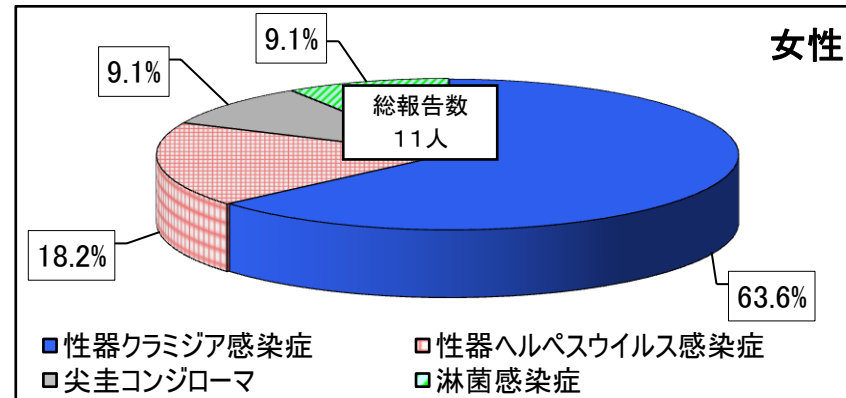
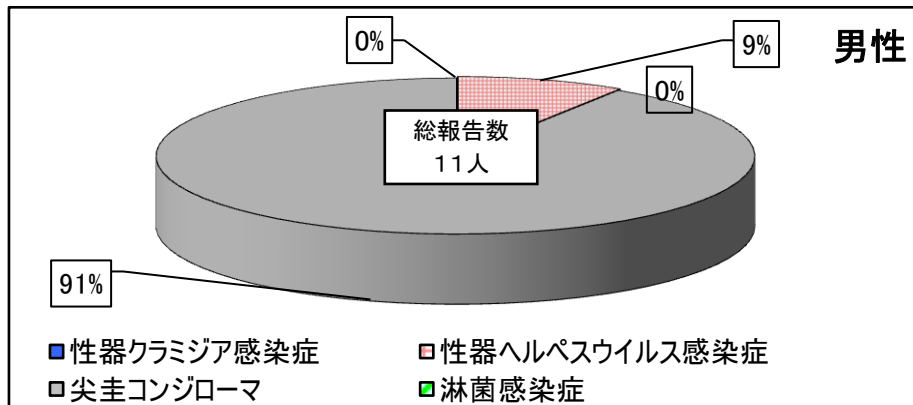


● 各疾病の報告状況

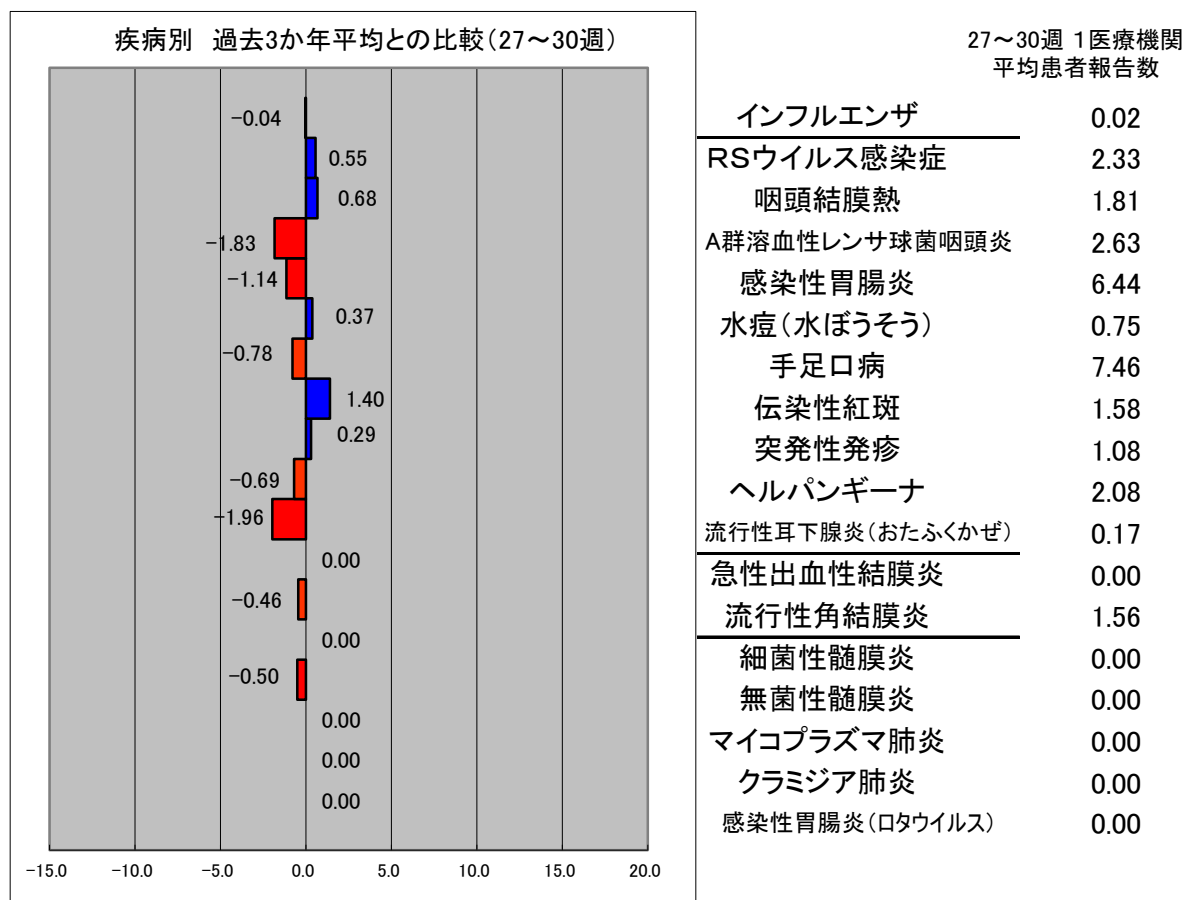
定点 種別	前月 比	疾 患 名	今月 (令和元年 7 月)						前月 (令和元年 6 月)						令和元年累計
			男女合計		男		女		男女合計		男		女		男女合計
			報告数	定点 当たり	報告数	定点 当たり	報告数	定点 当たり	報告数	定点 当たり	報告数	定点 当たり	報告数	定点 当たり	(報告数累計)
S T D	▼	性 器 クラミジア 感 染 症	7	1.40	0	0.00	7	1.40	12	2.40	3	0.60	9	1.80	73
	▼	性器ヘルペスウイルス感染症	3	0.60	1	0.20	2	0.40	6	1.20	5	1.00	1	0.20	53
	△	尖 圭 コ ン ジ ロ ー マ	11	2.20	10	2.00	1	0.20	4	0.80	4	0.80	0	0.00	34
	▼	淋 菌 感 染 症	1	0.20	0	0.00	1	0.20	2	0.40	0	0.00	2	0.40	18
計 (前 月 比)			22 (-2)		11 (-1)		11 (-1)		24		12		12		178
基 幹	△	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	8	8.00	4	4.00	4	4.00	7	7.00	5	5.00	2	2.00	29
	=	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	6
	▼	薬剤耐性 緑膿菌感染症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	1.00	1	1.00	0	0.00	1
		計 (前 月 比)	8		4 (-2)		4 (+2)		8		6		2		36

※「前月比」欄において、「△」は報告数の男女合計が前月比増加、「＝」は横ばい、「▼」は減少を示す。

性感染症の発生割合(5月)



令和元年7月(27～30週) インフルエンザ・小児科・眼科定点疾病の発生状況について



RSウイルス感染症、流行性結膜炎、喉頭結膜熱が3週つづけて増加がみられます。接触感染等を防ぐため、手洗いをしっかり行い、衛生管理に努めましょう。

